

市民しんぶん山科区版



やましな



今月号の題字
内田 奈央さん (音羽学区)



※ダウンロードは無料。
通信料は利用者負担。

大雨の季節が来ます! ~自宅の災害リスクを確認しましょう~

大雨が続き土砂災害や水害が発生する危険性が高くなると…
地域の危険度に応じて【学区単位】で避難情報が発令されます!

警戒レベル3：高齢者等避難
避難に時間を要する高齢の方などが避難を開始

警戒レベル4：避難指示
避難の対象となる全員が避難を開始

自宅の地域の危険度が高い場合、立ち退き避難!

危険度は **ハザードマップ** で事前に確認しておきましょう!

自宅周辺が着色されている!

自宅周辺は着色されていない

立ち退き避難!

指定緊急避難場所※や知人宅等、安全な地域へ避難してください。状況に応じて、建物の2階以上に行くなどの「**垂直避難**」も!



立ち退き避難は不要

原則、指定緊急避難場所等への避難は必要ありません。自宅等の安全な場所で、**今後の気象状況に注意してください**。ただし、身の危険を感じた場合は立ち退き避難か、垂直避難を!

※指定緊急避難場所:水災や土砂災害の発生する危険性が高いときに、小学校などに緊急的に開設される避難場所です。水や食料などの支給はありませんので、必要に応じて各自でご持参ください。「避難情報」が解除されれば閉鎖されます。

地震への備えも!

元日の能登半島地震では、上下水道が使えない中での避難所生活となり、感染症も発生しました。水をはじめ非常食や持ち出し袋といった備蓄品の準備や点検をお願いします。

避難所への避難だけでなく在宅避難についても日頃からご家庭で話し合っておきましょう!



(3月まで避難所になっていた石川県七尾市立和倉小学校の体育館での様子)

備えあれば憂いなし!



備蓄等について政府広報オンライン

ハザードマップ・避難所を確認!

<ハザードマップ・避難所の確認方法>

- 京都市防災ポータルサイトで閲覧可能
- 山科区役所2階20番窓口でも配布



京都市防災ポータルサイト

問合せ 区総務・防災担当 (☎592-3066)

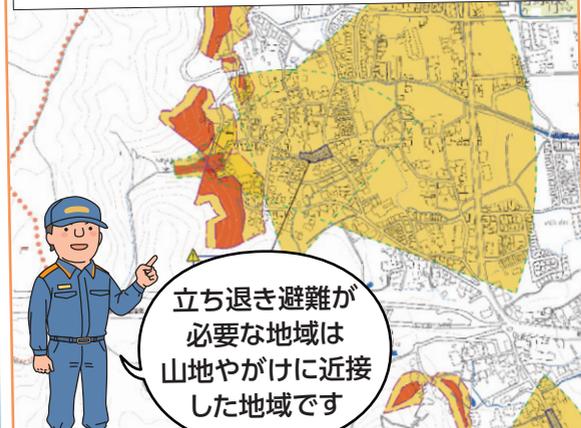
土砂災害 ハザードマップ

赤色 (土砂災害特別警戒区域)

黄色 (土砂災害警戒区域)

がけ崩れ等により、家屋倒壊等のおそれがある

指定緊急避難場所等へ避難



立ち退き避難が必要な地域は山地やがけに近接した地域です

水害 ハザードマップ

紫の囲み (建物倒壊想定区域)

黄色～赤 (洪水浸水想定区域)

青 (雨水出水浸水想定区域)

指定緊急避難場所等へ避難

*ただし、垂直避難が可能な場合は、自宅避難が可能



立ち退き避難が必要な地域は山科川流域に集中しています

地震 ハザードマップ

紫～赤 (花折断層地震想定震度)

家屋倒壊、火災発生、ライフイン機能停止等

指定避難所へ避難

※今年、新しく第4次地震被害想定が公表されました



花折断層地震が発生すると、市街地のほとんどの地域で震度6以上となると予想されています